

情報理解・基本スキルアセスメントシート ver.06

期日	**/**/**/ ~ **/**/**/	年齢・学年	小学部4年生	氏名	A・Mさん	記入者	水野
----	-----------------------	-------	--------	----	-------	-----	----

理解アセスメント(基本)					基本の概念・スキル					情報理解のアセスメント(high)					プロンプト・終わりの概念				
項目	P	E	F	備考	項目 (工程・活動等)	P	E	F	備考	項目	P	E	F	備考	項目	P	E	F	備考
言語の理解 (物・単語)		✓		■小1年生程度	finish BOXの利用	✓				標識・シンボルの理解		✓			直接言語指示		✓		
言語の理解 (動作・文章)		✓		■3語文程度	プットイン	✓				並べたカードの使用し手順のある活動を進める	✓			□文章 □単語 ■絵・写真 ■複合:絵+文字	間接言語指示			✓	
文字の理解 (物・単語)			✓	■小1年生程度	1対1の対応	✓				めくり式のカードの使用し手順のある活動を進める	✓			必要な配慮:	ジェスチャー		✓		
文字の理解 (動作・文章)			✓	□語文程度	カットアウトの利用	✓				リストを使用し手順のある活動を進める		✓			先行モデル	✓			
絵の理解(物)	✓			※理解できる絵の特徴:線画、抽象的すぎると理解できない	first~,then~の見通し(まずは~,終わったら~)		✓			複雑な内容の完成見本(絵・写真)		✓			同時モデル		✓		
絵の理解(動作・簡単な完成見本)		✓		※理解できる絵の特徴:大事な部分にマーキング	ルーティンの活用(保持)		✓			絵・写真のシグの活用		✓			身体プロンプト	✓			
写真の理解(物)	✓			※写真の配慮:位置など具体的にどっけしてしまう。	文字のマッチング		✓			絵による辞書の使用	✓				【終わりの理解】				
写真の理解(動作・完成見本)	✓			※写真の配慮:位置など具体的にどっけしてしまう。	単語のマッチング		✓			慣用句・比喩の活用(字義通りの解釈の確認)			✓		材料等が無くなったら終わり	✓			
具体物の提示	✓			□実際に使う ■シンボルとしての提示	数字・記号のマッチング		✓		2桁の数字のマッチング	絵本・物語を読む			✓	年生程度	容器に入らなくなったら(材料が残っていても)終わり	✓			
動作のモデル	✓			■先行 □同時	物の個数の理解		✓			絵本・物語を理解する			✓	年生程度	すべての枠に材料が入ったら(材料が残っていても)終われる	✓			
色の理解・分類	✓			■理解 ■分類・マッチング	指定された個数を準備する		✓			見取り図・平面図の理解		✓			全部にチェックが入ったら終わり		✓		
形の理解・分類	✓			■理解 □分類・マッチングはE	数字の順序性		✓			表・フローチャート、関係図の使用		✓		□表 □フローチャート □関係図	人からの合図で終わる	✓			□言語指示 □トランジションカードなどの視覚的合図
大きさ理解・分類			✓	□理解 □分類・マッチング	ものさしで長さを計れる		✓			度合いを4~5段階のものさしで理解できる			✓	内容:	タイマー等		✓		■アナログ □デジタル
長さの理解・分類		✓								テンプレートの活用		✓		□リスト □記号 □数字 ■色 ■形	時計での見通しの理解			✓	□アナログ □デジタル
															砂時計の理解			✓	

☑P=できている ☑E=芽生え反応・気づいてはいる ☑F=できない

本人の全体の様子	新しい活動・内容を教える時の留意点	上記を手だて・支援等で活用する時の留意点
スタートセッションで20分間は課題に取り組むことができました。しかし、課題への注目が途切れるのが増えたので、間に10分間の遊び場を設定して、後半25分間で実施、その間は持続し、課題に注目できた。	同時モデルは、注目が難しい。モデルを提示する時には、一度課題を止めて、モデルに注意喚起する必要がある。	カードタイプは、並べても、めくりにしても理解し進めることができる。しかし、並べる数が増えるとやや混乱が見られる。複雑な工程のある活動はめくり式の手順提示が有効である。

※シートの記入方法に関しては書籍『フレームワークを活用した自閉症支援』（78~79、88~89頁）を参考にしてください。 ※P・E・Fの視点はTEACCH自閉症プログラムの視点を参考しています。